

どう守るか 児童・生徒の安全を

学校・家庭・地域が一体となって



阿野 二郎 議員

児童・生徒が心身ともに健全で心豊かなたくましい人間に成長してくれることは町民すべての願いである。

しかし、昨今、児童・生徒の校外における安全が失われ、異常ともいえる登下校時の殺害事件が発生している。町内からこのような事件を起こすことは許されないし、児童・生徒の命は守ってやらなければならないが、この問題をどのようにとらえ、対処していく考えであるか。

学校・家庭・地域一体で

教育長

広島県・栃木両県で小学校一年生の女児が殺害される痛ましい事件が発

生し、私たちの身近でも発生するのではと不安を感じております。

学校では不審者に対して取るべき行動の指導や登下校時などの指導を徹底して行い、PTA専門部や校区公民館の組織、子ども110番の家などとの連携に努めている。地域の抑止力を最大限に生かした対策として、分館長を通して子どもを見守る風土、声かけ、登下校時間に合わせた散歩の奨励などを地域の方々にお願いし、事件防止に努力してまいります。

通学路の見直しをせよ

阿野議員

今回の事件は下校時に発生しており、通学路の利用状況も変化してきている。見直しをして安全を再度確認すべきではないか。

見直しも指導したい

教育長

学校と保護者、児童・生徒で通学路を点検しているところもあり、また取組んでいるところもありますので、今後、校長会などで指導していきたいと考えております。

防犯ベルを携帯させよ

阿野議員

不審者に対する危機に直面したときの防衛策として、防犯ベルを携帯させることが児童を守る安全策と考えるが、その考えはないか。

PTA等で対応している

教育長

小学校では、7校とも持っておりますが、全員ではないところもあります。

「家庭学習の手引き」のねらいは何か

阿野議員

学力の低下が指摘されている中で、家庭学習の果たす役割は非常に大きいと考える。本町は現在学力の向上にも取り組んでいるが、「家庭学習の手引き」（チャレンジおおさき）を作成し、児童・生徒に配布しているが、ねらいは何か。

確かな学力の向上

教育長

本町は文部科学省の学力向上推進地域の指定を受け研究を進めてまいりました。

学習に対する意欲を高めることや家庭学習の大切さを訴え、学ぶ必要性、学ぶ意欲を感じさせ、家庭と連携をとって学力向上に取り組むためであります。

「家庭学習の手引き」の利用を通して、テストに対して意欲的に取り組めるようになったとの報告も受けております。



学習のしつけや家庭学習の手引を掲載した「チャレンジおおさき」